

令和元年度 厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書(自治体 follow up 調査班)

自治体肝炎ウイルス検査の実態と陽性者 follow up（千葉県の取り組み）

研究分担者：是永 匡紹 国立国際医療研究センター 肝炎情報センター
研究協力者：伊瀬 雅比古 千葉県疾病対策課
研究協力者：奈良 謙次 千葉県健康増進課

研究要旨：平成 14 年から老人保健事業、平成 20 年からは健康増進事業等で、自治体主導の（基本/特定）健診時に行われる肝炎ウイルス検診等の取り組みにより、千葉県では 120 万人以上が肝炎ウイルス検査を受検し、HBV、HCV 陽性者をそれぞれ約 1 万人掘り起こした一方で、それぞれ継続受診率や HCV 排除数は不明である。千葉県で平成 23 年から 5 歳毎の受検勧奨を行い平成 28 年に約 20%が減少したが平成 29 年に再度上昇、その原因として、54 市長村の多くが受検年齢の拡充、撤廃が考えられた。陽性者に対するフォローアップ事業に対して実態調査を行ったところ、80%以上の市町村で事業開始していると答えた一方で、陽性者に対する事業同意率は約 30%と留まり、多くの陽性者への受診確認できない状況であった。千葉県が行う特定感染症検査事業で行う肝炎ウイルス検査では問診時（検査前）にフォローアップ同意を得る問診票を作成し、平成 31 年 2 月に 30 市長村を集めて、受診確認向上と同意書件問診票の水平展開状況を報告する。

A. 研究目的

平成 14 年から老人保健事業、平成 20 年からは健康増進事業等で、自治体主導の（基本/特定/がん）健診時に行われる肝炎ウイルス検診等により、平成 28 年度までに、約 120 万人の千葉県民が肝炎ウイルス検査を受診し、B 型肝炎ウイルス（HBV）陽性者約 9000 名、C 型肝炎ウイルス（HCV）陽性者約 8500 名掘り起こした。その一方で陽性者の受診確認率の実態は明らかではない。治療費助成制度で、新規にインターフェロンフリー助成制度の認定者約 8000 名、多くは HCV 排除に成功したと推定できるものの、認定者の発見契機も不明で、県内 HCV 陽性者の何%が受療したかも明らかではない。

今回、平成 27 年度より開始された重症化予防事業に伴うフォローアップ事業（＝事業に同意された陽性者に対して、初回精密検査費用助成等を案内し、年 1 回受診確認を行。また受診確認ができない事業参加者には電話等を行う）の実態を確認するため、千葉県

54 市町村にアンケート調査を行い解析するとともに、平成 28 年度の肝炎ウイルス検診の減少原因について検討する。

B. 研究方法

54 市町村に下記のアンケート調査を行うとともに、健康増進に伴う肝炎ウイルス検査の受検数、勧奨方法、年齢制限等の変化も解析した。

市町村健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診 陽性者フォローアップ事業実施状況調査票

市町村名

担当部署

担当者名

電話・FAX TEL: FAX:

電子メール

欄を入力してください。(平成30年3月31日時点で回答してください。)

フォローアップ事業とは、肝炎ウイルス検査結果が陽性となった方に対して、同意を得た上で年1回程度、受診状況を確認し重症化予防を取り組みます。フォローアップ事業への参加者は指定項目に関する前記健康増進委員の助成を受けることができます。

平成27・28・29年度の検診結果で肝炎ウイルス検査の陽性者はいましたか。(○を選択)

あり なし

「あり」の場合、へお進みください。

「なし」の場合、今後、陽性者がいれば、フォローアップ事業を実施予定ですか。(○を選択)

事業実施予定 事業実施予定なし

以上で本調査は、終了です。

平成27・28・29年度の肝炎ウイルス検査陽性者に対するフォローアップ事業を実施していますか。(○を選択)

フォローアップ事業の実施あり フォローアップ事業の実施なし

平成27年度 平成28年度 平成29年度

平成29年度「実施なし」の場合、平成30年度は、フォローアップ事業を実施予定ですか。(○を選択)

「あり」の場合、へお進みください。

事業実施予定 事業実施予定なし

以上で本調査は、終了です。

平成27・28・29年度に実施した結果が陽性であった方に対して実施したフォローアップ事業の結果について、実人数を記入してください。また、医療機関未受診者、検診できなかった方に再度、受診勧奨及び受診勧奨を実施した場合(実施予定)は、「再勧奨」欄の○を選択してください。

8月肝炎ウイルス	陽性者数	同意者数	フォローアップ実施者数(人)	医療機関未受診者	検診できなかった方	その他	再勧奨
平成27年度			0				
平成28年度			0				
平成29年度			0				

「その他」は、フォローアップを実施したが、同意を得られなかった、検診できなかった場合などの数を記入してください。
(例)27年度の検診結果が陽性となった3人から同意を得てフォローアップを実施し、28年度に1人、29年度に1人の合計2人が医療機関を受診しているが、29年度の同意者数3、医療機関受診者数2が1人です。(検査を受けた陽性者2人、受診勧奨を受けた陽性者1人)

【フォローアップ事業への参加同意について】
どのような方法でフォローアップ事業への参加同意を取っていますか。(複数回答可、該当欄の○を選択)

市町村職員による同意取得 郵送 1 面談 2 その他(具体的に記入)

委託医療機関による同意取得 問診・受診時 結果説明・受診時 その他(具体的に記入)

1 陽性者に郵送で同意書を送付し、返送してもらうことを希望しています。
2 電話をしてから郵送している場合は、郵送と電話それぞれに、電話をしてから実施している場合は検診と電話の○を選択してください。

【フォローアップ事業の実施方法について】
どのような方法で陽性者の受診状況を把握していますか。(複数回答可、該当欄の○を選択)

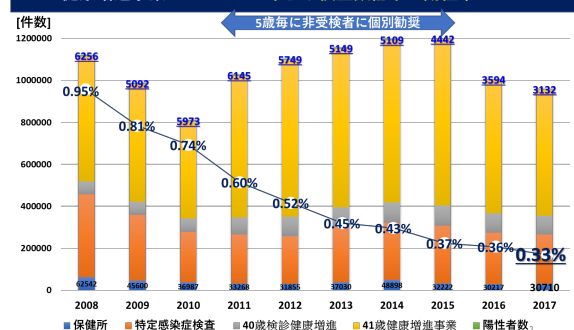
市町村職員による実施 郵送 面談 電話 その他(具体的に記入)

同意者に対して受診状況等を把握し、同意を返送してもらうことを希望しています。

委託医療機関は、フォローアップを実施していますか。(該当欄の○を選択)

実施している 実施していない 不明

2008年以降の我が国の肝炎ウイルス検診(検査)数年次推移(HCV)
～健康増進事業が70%・2016年より検査数低下・陽性率は0.3%～

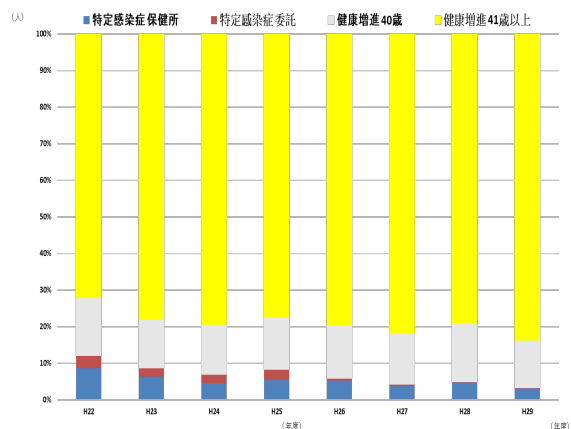


健康増進事業が70%程度

これまでに肝炎ウイルス検査推移

千葉県での肝炎ウイルス検査は健康増進事業が90%を占め、政令市(千葉市)がありながら、その比重が高い。

千葉県における自治体での肝炎ウイルス検査の割合(HBV)
90%以上が健康増進事業



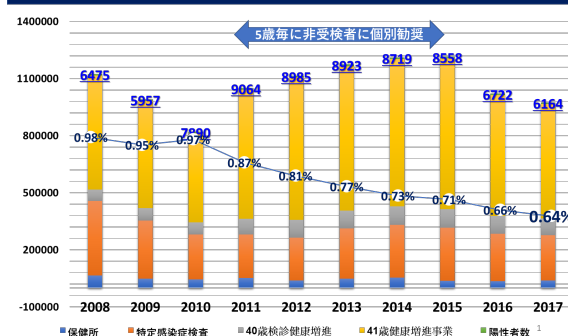
C. 研究結果

検討1：肝炎ウイルス検査・検診

わが国肝炎ウイルス検査数・陽性率

2016年から減少中(HBV0.64% HCV 0.33%)

2008年以降の我が国の肝炎ウイルス検診(検査)数年次推移(HBV)
～健康増進事業が70%・2016年より検査数低下・陽性率は0.65%～



H27年まで上昇を継続するもH28年に41歳以上の検診で約1万件減少。これまでの上昇に原因には5年毎の受診勧奨推奨に加え、H26年度から柏市の参入(年6000件)、H27年度の松戸市(前年6.4倍)、佐倉市(8.5倍)の取り組みの変化に影響されている。

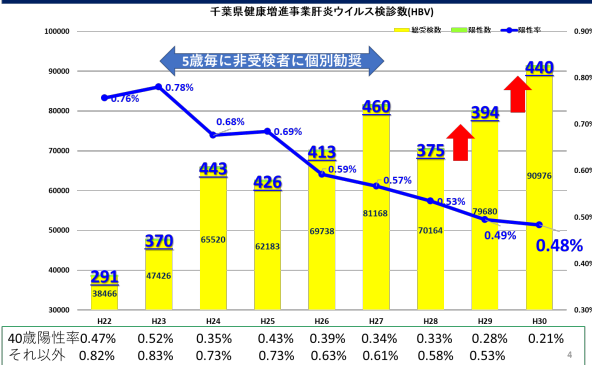
H27年度1000件以上の検査数があった14市のうち、多く減少した市(前年からの減少数/前年比)は、千葉市(4130件/66%)、船橋市(2018件/78%)、佐倉市(1404件/43%)、袖ヶ浦市(983件/15%)、君津市(786件/35%)が抽出された。減少数の約40%が千葉市であ

ったためヒアリングを行ったところ、**5歳毎の受検勧奨がおり対象者（5年前に受検していなかった市民が転入市民）が減少した**ためであるとの回答があった

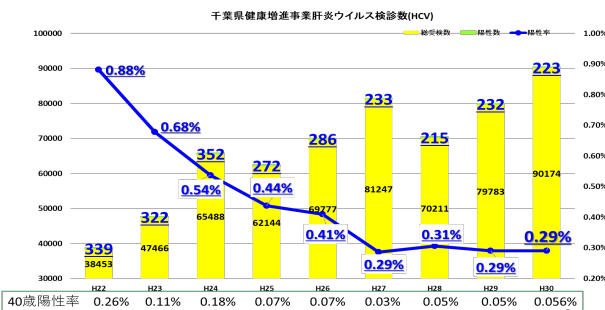
H29からは再び上昇となり、市町よる年齢制限を撤廃（市原市等）5歳毎勧奨から非受検者（千葉市）で全国的に珍しく検査数が上昇している県となる。

H30年度健康増進事業における肝炎ウイルス検診数(HBV0.48%,HCV0.29%)

千葉県における肝炎ウイルス検査の推移(HBV・健康増進事業)
H29はH27と同等、更にH30検査数増 HBV陽性率は0.5%未満



千葉県における肝炎ウイルス検査の推移(HCV・健康増進事業)
HCV陽性率は0.3%（230名/年）高齢者が増えたに陽性率が変化せず



検討2 受診確認状況

千葉県の陽性者フォローアップ事業と受診確認率の現状
～年間700名の陽性者！→B型肝炎30%とC型肝炎40%受診確認率～

平成30年度に肝炎ウイルス検査陽性者に対するフォローアップ事業（受診状況の確認）を実施していますか。（〇を選択）

肝炎ウイルス	陽性者数①	事業実施				事業未実施				再勧奨	陽性者が存在した86%が実施
		同意者数②	同意者数③	同意者数④	同意者数⑤	同意者数⑥	同意者数⑦	同意者数⑧	同意者数⑨		
B型肝炎ウイルス	459	64	57	5	2	7	64	121	13.9%	26.4%	25.9%
C型肝炎ウイルス	233	35	33	2	0	5	31	64	15.0%	27.5%	27.0%

① フォローアップ事業の開始（H27年度）以前から、陽性者に対してその後の受診確認を行っていましたか。

行っていた	行っていない
21	33

事業開始地域が拡充されても、事業同意数は僅か22%程度で、県内年度毎の陽性者に対する受診確認率は15%程度、同意がありながら受診確認ができない陽性者への「再勧奨」も25%程度に留まっていた。昨年度の市町村会議行い、本事業というより、陽性者の受診確認をして頂くことを周知、同意がなくても受診確認をしている数が明らかになり、現在は30～40%の確認率となった。

検討3 人口が多い都市の検査数・受検率・受診確認率

千葉市健康増進事業における肝炎ウイルス検査の推移(HBV)
2018(H30)年に約8000件増加→千葉県検査数増大の原因+HBV停滞



千葉市における受診確認率→50%! 同意は陽性者へ自治体が行う（R1から問診時同意）→再勧奨+同意がない陽性者へも受診確認

肝炎ウイルス	陽性者数	同意者数	同意率	受診確認	未受診	その他	同意者受診率	再勧奨	同意者でも受診確認	同意率
B型肝炎ウイルス	92	31	33.7%	26	5	0	84%	再勧奨	19	48.9%
C型肝炎ウイルス	62	22	35.5%	18	3	1	82%	再勧奨	12	48.4%
B型肝炎ウイルス	73	26	35.6%	15	11	0	58%	再勧奨	16	42.0%
C型肝炎ウイルス	122	58	47.5%	26	28	4	45%	再勧奨	19	36.0%
2015～2018	349	137	39.3%	85	47	5	62%	再勧奨	66	43.3%

肝炎ウイルス	陽性者数	同意者数	同意率	受診確認	未受診	その他	同意者受診率	再勧奨	同意者でも受診確認	同意率
B型肝炎ウイルス	62	23	37.1%	21	2	0	91%	再勧奨	10	50.0%
C型肝炎ウイルス	35	12	34.3%	11	1	0	92%	再勧奨	7	51.4%
B型肝炎ウイルス	42	11	26.2%	8	2	1	73%	再勧奨	8	38.1%
C型肝炎ウイルス	63	28	44.4%	19	7	2	68%	再勧奨	13	50.8%
2015～2018	202	74	36.6%	59	12	3	80%	再勧奨	38	48.0%

千葉市はH30年から問診時同意、H29年より個別勧奨、問診時同意がなくても、約50%に受診確認を維持している。

[illegible]

Year	Investigation rate (%)	Cases retained for investigation	Cases entrusted for investigation	Cases aged 40 and above	Cases aged 41 and above	Cases with periodic investigation
2010	0.11%	~500	~1500	~100	~100	~100
2011	0.35%	~500	~1500	~100	~100	~100
2012	0.35%	~500	~1500	~100	~100	~100
2013	0.40%	~500	~1500	~100	~100	~100
2014	0.20%	~500	~1500	~100	6792	~100
2015	0.16%	~500	~1500	~100	6545	~100
2016	0.08%	~500	~1500	~100	5861	~100
2017	0.09%	~500	~1500	~100	6509	~100
2018	0.05%	~500	~1500	~100	7469	~100

	2014	2015	2016	2017	2018
2014	0.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.16%
2015	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.15%
2016	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
2017	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.39%
2018	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.16%

■ 2014 ■ 2015 ■ 2016 ■ 2017 ■ 2018

Age Group	2014	2015	2016	2017	2018
40歳	0.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.16%
41~44歳	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.15%
45~49歳	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
50~54歳	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.39%
55~59歳	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.16%
60~64歳	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
65~69歳	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
70歳以上	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

性別	B型肺炎ウイルス		再感染			再感染率 （%）	再感染率 （%）	再感染率 （%）	再感染率 （%）
	陽性者数	同意者数	再感染陽性者数	再感染陽性者数	その他※				
平成27年度	33	0	0	0	0	14	14	0.0%	42.4%
平成28年度	21	6	2	1	3	0	2	28.6%	9.5%
平成29年度	26	12	10	0	2	0	12	46.2%	46.2%
平成30年度	22	13	11	1	1	0	11	59.1%	50.0%

性別	C型肺炎ウイルス		再感染			再感染率 （%）	再感染率 （%）	再感染率 （%）	再感染率 （%）
	陽性者数	同意者数	再感染陽性者数	再感染陽性者数	その他※				
平成27年度	12	0	0	0	0	11	11	0.0%	91.7%
平成28年度	6	2	1	1	0	0	1	33.3%	16.7%
平成29年度	7	6	6	0	0	0	6	85.7%	85.7%
平成30年度	5	4	3	0	1	0	3	80.0%	60.0%

Year	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
陽性者数 (Positive Cases)	28165	12080	8952	14228	11728	11121	10652	8805	8778	7671	7798
陽性率 (Positivity Rate)	0.80%	0.83%	0.75%	0.70%	0.79%	0.62%	0.75%	0.68%	0.56%	0.69%	0.53%

The chart displays the following data points:

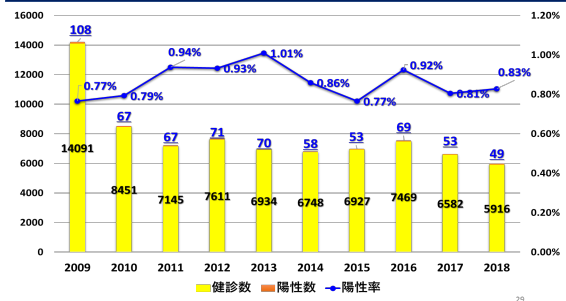
Year	Number of Employees	Average Annual Salary (%)
2009	28160	0.74%
2010	121070	1.00%
2011	8959	0.66%
2012	14217	0.49%
2013	11731	0.57%
2014	11119	0.40%
2015	10653	0.25%
2016	8798	0.42%
2017	8789	0.31%
2018	7669	0.33%
2019	7394	0.13%

性別	年齢	性別	年齢	検査結果			再検査	事業参加者以外の 受診検診回数	医療機関受診回数 (※1+※2)	フォローアップ 回率 (％)	受診検診率 率 (％)
				医療機関受診回数	医療機関未受診数	その他※					
C型野矢 ウイルス											
男性	27	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
女性	40	1	1	0	0	0	0	1	1.7%	1.7%	1.7%
合計	69	2	1	1	0	0	0	1	4.1%	2.0%	2.0%
年齢	53	1	0	0	0	1	0	0	1.9%	0.0%	0.0%
C型野矢 ウイルス											
性別	年齢	性別	年齢	検査結果			再検査	事業参加者以外の 受診検診回数	医療機関受診回数 (※1+※2)	フォローアップ 回率 (％)	受診検診率 率 (％)
				医療機関受診回数	医療機関未受診数	その他※					
男性	27	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
女性	37	1	1	0	0	0	0	1	2.7%	2.7%	2.7%
合計	27	1	0	1	0	0	0	0	3.7%	0.0%	0.0%
年齢	25	2	0	0	0	2	0	0	8.0%	0.0%	0.0%

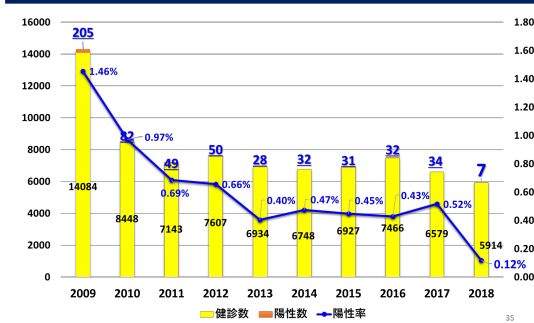
[illegible]

精密検査依頼状

市川市における肝炎ウイルス検査の推移(HBV・健康増進事業)
6000～7000件(減少中) 陽性率は0.9%と低下せず(5～60名/年)県



市川市における肝炎ウイルス検査の推移(HCV・健康増進事業)
2009,10年以降に受検開始?、陽性率0.5%(30名)も昨年急激に減少!



市川市における受診確認率
陽性者の3～6%しか受診確認ができていない

肝炎ウイルス	陽性者数	同意者数	同意率	受診確認受診済者数	受診確認未受診者数	その他※	同意者受診済率	再勧奨	受診確認率
平成27年度	53	0	事業用	0	0	0	0	0	事業用
平成28年度	69	6	8.7%	6	0	0	100%	0	8.7%
平成29年度	53	3	5.7%	1	0	2	33%	0	1.9%
平成30年度	49	7	14.3%	0	0	7	0%	0	0.0%
2015～2018	224	16	7.1%	7	0	9	44%	0	3.1%

肝炎ウイルス	陽性者数	同意者数	同意率	受診確認受診済者数	受診確認未受診者数	その他※	同意者受診済率	再勧奨	同意率
平成27年度	31	0	事業用	0	0	0	0	0	事業用
平成28年度	32	4	12.5%	2	0	2	50%	0	6.3%
平成29年度	34	8	23.5%	4	0	4	50%	0	11.8%
平成30年度	7	1	14.3%	0	0	1	0%	0	0.0%
2015～2018	104	13	12.5%	6	0	7	46%	0	5.8%

市川市は HBV 陽性率が減少しない地域
2009 年より個別勧奨を行い、受検数は緩やかに減少（船橋市と同様）2018 年に HCV 陽性者が激減。

問診に事業同意をつける様に、2016 年から伝えるも、変更されず、どうしても受診確認をしたくない（肝炎ウイルス陽性者に連絡すると不快に思う人がいると・・・）

医師会にも連携と取り、問診票に「事業を説明するための同意書」を入れ込むことで来年度は経過観察。来年度再検討。

→事業を説明するのは、市川市の業務だが、改善されず。検査委託医師も事業について理解が不十分で、対象者が抽出されない状況にと考えられる。

本市が改善すれば、千葉県の受診確認率は

向上すると考えられる。

D. 考察

健康増進事業における肝炎ウイルス検診数の今後

健康増進事業では検診結果にたいして保健指導をするように記載されており、多くの地域で、肝炎ウイルス陽性者の専門医への受診勧奨が行われていた。今回、のフォローアップ事業の同意が通知上、「陽性者（陽性判明後）に同意を求める」形式となり、問診票に「保健指導すること」が記載されてあっても、陽性後に検査医師・自治体肝炎ウイルス対策部署より「受診確認を定期的に行うこと + 紹介精密検査勧奨の同意」= いわゆる 2 回同意を行い、後者が取れない地域では受診確認も行わない地域が認められる（船橋市、市川市等）

「保健指導することが当たり前であった自治体」では、陽性結果確認後に郵送・電話・面談で同意取得を、また「同意をさせる必要がなかった医師」が同意取得するケースにおいて、著しい同意率低下が確認された。実際に、受診確認これまで通り行い、初回精密検査の為にフォローアップ同意を取得している（宮崎県）また、医師が説明するケースにおいては人口の多い市 = 陽性者が多く、委託医療機関の多い市 では事業の認知度が十分に伝わっておらず、医師に負担をかけない方法が望まれると考え下記の様に問診票に同意 + 結果説明 + 紹介先がついた用紙を作成し、同意率を高く得ることを推奨し、

検査(問診)時同意により多くの陽性者がフォローアップ事業の対象者となる
問診票1枚で事業同意 + 検査結果 + 紹介先が共有可能に！（川崎市）

問診票1枚で同意 + 検査結果 同意について (n=108) H27.4からH28.3まで #受診確認率55% <table border="1"> <tr> <th>同意</th> <th>B型(59名)</th> <th>C型(53名)</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>あり</td> <td>44</td> <td>39</td> <td>83※</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>15</td> <td>26</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59</td> <td>53</td> <td>108</td> </tr> </table> ※B型とC型陽性者108名に同意した者の割合		同意	B型(59名)	C型(53名)	合計	あり	44	39	83※	なし	15	26	25	合計	59	53	108	この肝炎ウイルス検査は、川崎市の医療機関に委託し実施している事業です。この問診票及び検査結果が、市医師会に提供されることについてご了承ください。また、検査の結果が陽性だった方がフォローアップ事業への参加について同意されるかは、市に直接、市医師会に直接または委託する医療機関等に、調査票の郵送や電話等で受診確認などの連絡を行います。以下のことを確認し同意してください。 ① 陽性者のフォローアップ 市医師会等が、初診時等に必要となる同意書等により肝炎ウイルス検査の結果に基づいて本人の同意を得ている同意書に付し、市医師会等による調査票等と併せて提供することにより、市医師会等に委託する医療機関等に、調査票の郵送や電話等で受診確認などの連絡を行います。以下のことを確認し同意してください。 ② 同意書 同意書は、市医師会等に提出することになります。 ③ 検査結果 検査結果は、市医師会等に提出することになります。 ④ 紹介先 検査結果が陽性だった方が、市医師会等に紹介される場合があります。
同意	B型(59名)	C型(53名)	合計															
あり	44	39	83※															
なし	15	26	25															
合計	59	53	108															

フォローアップ事業要項書き換えに繋がった。

千葉県では大網白里市、長生市の2市村のみであった検査前同意が、本要項改正によって、平成30年度より、船橋市では平成31年度より同意書を問診票に組み込み使用開始・予定となり、特に陽性者が多い市町で水平展開を検討する。

陽性者が少ないとこで、最初から面談・訪問でも可能でこれまでに体制を崩さないことが重要であるが、陽性者が年間20名以上で受診確認率が高い市(フォローアップ好事例)の多くは、同意を検査前に取得し、自治体より数ヶ月後(6ヶ月後)に郵送にて助成制度案内+受診勧奨リーフレット(研究班作成HBVひとつ+HCVたたけ)+県委託指定期間list+自治体からの依頼状+受診調査票をお送りし、返信がない対象に電話等を行っている。(先進地区も受診確認率は5-60%である)

E. 結論

H28年度千葉県健康増進事業における肝炎ウイルス検診数15%の減少は、人口の多い市での5歳毎の受診勧奨が2回目に入り、対象者が減少したことに起因していた。その一方でH29年度では、年齢制限の撤廃、個別勧奨対象拡大により、受検数は回復、更に上昇中である。

H27年度より導入されたフォローアップ事業は約80%と市町村で開始されていたが、同意率は20%と、多くが受診確認できない状態になっており、今後は問診票改定、市町村肝炎対策部署と委託医療期間の医師の連携が必要で、陽性者に連絡するより検査医師に確認の方が確実と思われる

自治体は各年度陽性者の50%を専門医療機関に繋げること第一目標に、非受診者には2回は勧奨を繰り返した方が良いと考えられた。

F. 研究発表

1. 発表論文
無

2. 学会発表
無

3. その他 啓発資料

* 初回精密検査促進リーフレット

陽性結果時にフォローアップ事業に同意すると

肝炎ウイルスの
精密検査(初回)
を受けた方に

最大 **8,000円**
助成金が戻ってきます

面倒な申請は、
市川市が**お手伝い**します。

フォローアップ事業参加同意書
について市の担当者が説明します

提出する書類

- ☐ 肝炎検査費用請求書
- ☐ 指定医療機関の領収書(レシート不可)
- ☐ 郵便明細書
- ☐ 申請書の住民票(コピー可)
- ☐ 助成金振込先金融機関の口座が分かる書類
- ☐ 肝炎ウイルス検査結果の写し

(検査検査を受けるきっかけとなった検査結果の通知日、結果(陽性)、実施機関がわかるもの)

提出先:
千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症医療班
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
(南船場駅西口徒歩1分) 電話043-223-2665

申請期限: 県(保健所や委託医療機関)または市町村が実施した肝炎ウイルス検査の結果通知から1年以内

受診可能な医療機関は裏面をご覧ください

肝炎ウイルス初回精密検査の 費用が戻ってくる医療機関

医療機関名	〒	所在地	電話番号
医療法人社団平静会 大村病院	272-0023	市川市南八幡4-14-2	047-377-3111
医療法人社団粉生会 メディカルプラザ市川駅	272-0034	市川市市川1-4-10 市川ビル4階	047-326-3500
妙典内科クリニック	272-0115	市川市富浜2丁目14-4ヴァンティアン3F	047-307-6655
竜崎医院	272-0115	市川市富浜2丁目3-24	047-358-7300
行徳総合病院	272-0103	市川市本行徳5525-2	047-300-2117
ふるや内科クリニック	272-0138	市川市南行徳1-18-6 1F	047-357-0101
東京歯科大学市川総合病院	272-0824	市川市菅野5丁目11-13	047-322-0151
医療法人社団慶友会かわこ医院	272-0832	市川市菅野5丁目5-5	047-372-7811
独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院	272-8516	市川市国府台1-7-1	047-372-3501
国際医療福祉大学市川病院	272-0827	市川市国府台6-1-14	047-375-1111
東京ベイ・浦安市川医療センター	279-0001	浦安市当代島3丁目4-32	047-351-3101
順天堂大学医学部附属浦安病院	279-0021	浦安市富岡2丁目1-1	047-353-3111
浦安富柳病院	279-0004	浦安市富葉5-11-14	047-380-2000

対象となる費用

- 初診料または再診料
- ウイルス検査指導料
- 上記の検査に関連する費用として県が認めた費用

血液型別・機能検査 生血・尿検査 血液化学検査
腫瘍マーカー 肝炎ウイルス関連検査 免疫学検査
定・定量検査 超音波検査

申請の資格

- 県または市町村が実施する肝炎ウイルス検査で陽性
- 県または市町村が実施するフォローアップ事業の参加に同意している
- 県の指定医療機関で、精密検査を初めて受けた方

精密検査で治療が必要とされた方には、治療費や定期検査にも助成制度があります。詳しくは下記までおたずねください。

市川市 保健部 保健センター 疾病予防課(健診担当:047-376-8831)

- * クリアファイル(委託医療機関、肝炎対策部署、非専門医へ1000部配布)



啓発活動

是永匡紹 令和元年度 千葉県肝炎医療コーディネーター養成研修会

(講師 11月30日 70名)主催 千葉県

是永匡紹 令和元年度 千葉県肝炎医療コーディネーター継続研修会(講師 2月2日 68名)主催 千葉県

是永匡紹 令和元年度 千葉県肝疾患診療連携拠点病院連絡協議会(講師 2月17日 25名)主催 千葉大学

市川市肝炎対策会議 8月19日、12月6日、1月25日主催 市川医師会

市川市肝炎対策会議 8月19日、12月6日、1月25日主催 市川医師会

G. 知的財産権の出願・登録状況

- 特許取得
なし
- 実用新案登録
なし
- その他
なし